

ふるさと光の会だより

第26号
令和5年2月



ふるさと光の会HPはこちら
過去の会報や前回(令和元年度)の
総会・交流会の様子もご覧いただけ
ます。

発行 ふるさと光の会事務局

連絡先 〒743-8501 光市中央六丁目1-1 光市企画調整課
TEL 0833-72-1407 FAX 0833-74-1041
E-mail kikaku@city.hikari.lg.jp

令和5年度 総会・交流会について

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、会員の皆様の健康と安全の確保を最優先し、7月2日に開催を予定していた総会・交流会を令和2、3年度に続き中止しました。

令和5年度は、7月1日(土)に開催を予定していますが、状況によっては、引き続き、開催について、慎重に判断していく必要があります。

開催の有無については、状況を見ながら、役員会で協議を行い、会員の皆様に改めてお知らせします。

今年こそは皆様と笑顔でお会いできることを願っています。

● 皆様のお知り合い等に入会を希望される方がいらっしゃれば、事務局までお知らせください。

● 思うように交流ができない状況が続いてきたからこそ、改めて「光」のつながりを感じていただきたいので、会員の皆様の総会・交流会への参加を願います。

会場となる14階「天平」を出ると、壁一面の窓から東京ベイエリアが一望できます。



【開催予定】
日時 令和5年
7月1日(土)
12時30分から

場所 バイサイドホテル
アジュール竹芝
(港区海岸1-11-2)

※開催の有無を含め、詳しくは、改めてご案内します。



祝 甲子園出場 光高等学校

第95回記念選抜高等学校野球大会の出場校が発表され、中国地区代表として光高等学校野球部の出場が決定しました。甲子園出場は、平成5年、6年の夏以来3回目、春のセンバツは初出場です。

3月10日に組み合わせ抽選会が行われ、3月18日から大会が開幕します。みんなで応援しましょう！

光潮同窓会



光潮同窓会のHPに、今回の甲子園出場への支援に関する情報が掲載されています。詳細は、左記QRコードからHPをご参照ください。



第139回秋季中国地区高等学校野球大会 準優勝

| | | | |
|------|---|------|------|
| 一回戦 | 光 | 3-0 | 浜田 |
| 準々決勝 | 光 | 6-5 | 創志学園 |
| 準決勝 | 光 | 2-1 | 高川学園 |
| 決勝 | 光 | 0-13 | 広陵 |



令和4年 光市での主な出来事

光市小周防・束荷地区に 新たな産業団地の整備が決定



県による新たな産業団地の整備場所に小周防・束荷地区が選定され、県と基本合意を締結しました。28年ぶりとなる産業団地の整備により、雇用の創出や地域経済の活性化に加え、人口減少の抑制や税収の増加など、様々な相乗効果が期待されます。

人、地域、暮らしをつなぐ 「公共交通ネットワーク」を充実



交通弱者の移動を支援するため、地域で自主運行する三島地区へコミュニティ交通車両を新たに貸与しました。
また、使いやすいさに配慮した新しい市営バスの導入や、外出しやすい環境を創出するため高齢者を対象としたバス・タクシー運賃の助成など、公共交通施策を展開しました。

施設一体型小中一貫やまと学園 新設に向けた取り組みを開始

令和4年3月に策定した「施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針」に基づいて、第一期に位置付けている「やまと学園（大和中学校区）」での整備・新設に向け、6月から地域説明会を実施、11月には準備委員会を設置し、新しい学園づくりについて意見交換をしています。



コロナを乗り越え 3年ぶりの祭りにぎわう

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を取りやめていた「光まつり」や「ひかりふるさとまつり」が3年ぶりに開催されました。
そのほか各種イベントが対面で開催され、多くの笑顔があふれました。



～ひかりのにぎわい～



ひかりふるさとまつりでの
もちつきパフォーマンス



4回目となる
まちぐるみWeddingを開催



2つの海水浴場の利用者は
約7万人

地域おこし協力隊

伊保木地区では・・・令和3年7月から 林隊員が活躍中

林隊員は、広島市より、2人目の地域おこし協力隊として着任しました。

地域の活動計画である「コミュニティプラン」の実現をテーマに、地域住民の方と一緒に竹林の整備などを行っています。その他、地域の情報発信や行事の準備・運営を支援したりと、精力的に活動しています。



地域おこし協力隊は、都市地域から地方に移住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の「地域おこし支援」、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

任期は概ね1年以上、3年未満です。

束荷地区では・・・空き家活用に 取り組む隊員を募集中

前任の隊員が地域住民の方と協力して行ってきた活動をさらに発展させるため、「空き家の利活用によるコミュニティの活性化」をテーマに、後任となる地域おこし協力隊員を募集しています。

退任後の定住・起業支援として、任期後も市内で定住かつ起業した方への補助金制度(上限100万円)が設けられています。

募集の詳細はこちら



「ふるさと光の会」の会員は、移住 就業・移住創業支援補助金の対象！

東京圏から光市に移住した場合に交付される「移住就業・移住創業支援補助金」について、令和3年度から「ふるさと光の会」の会員が対象者に追加されています。

直近10年間のうち5年以上東京23区内に居住等で住民票要件を満たしている場合、ふるさと光の会の会員であれば、Uターンで光市に戻ると、単身者60万円、2人以上の世帯100万円が交付されます。さらに、令和4年度から、18歳未満の世帯員1人につき30万円が加算されるようになりました。光市にUターンする際には、活用したいですね。

(令和5年1月時点の情報)

交付には様々な要件がありますので、詳細は市ホームページで確認しましょう。



ま・ち・の・話・題

令和4年10月11日、光市LINE公式アカウントが開設されました。市政情報や防災情報、講座・イベント・レジャー情報などの分野について、市が配信する様々な情報の中から、欲しい情報を選んで受け取ることができます。

また、トーク画面から簡単に市ホームページのふるさと納税や移住情報のページを開くことができます。

会員の皆様も、ぜひ友達登録して、気になる光市の情報をチェックしてみてください。

友達登録の方法

LINEアプリの「友だち追加」で右のQRコードを読み取り、追加をタップ



【寄稿】 島田駅125周年に寄せて

ふるさと光の会 理事 木村 雄一



◀竹林と待合室



ケイトウの花▶

令和4年は、日本の鉄道が営業運転をはじめてから150周年、島田駅が開業して125周年でした。

夏の島田駅は、島田川からの風が、川と駅の間にある竹林を抜け、築50年を迎えた駅の待合室を抜けます。風に揺れる笹の音は、ちょっとした避暑の心地よさを感じます。冬の夜、島田駅に降り立つと、キーンとした冷たさの中、満天の星空が鮮やかな輝きで迎えてくれます。駅の跨線橋の上から見る一筋の列車の灯りはノスタルジックを感じます。駅はいつも地域の方がきれいにして下さって本当に感謝です。駅の花壇にある石碑や色鮮やかなケイトウを見ると「帰ってきた」とホッとする瞬間で、私にとって、大切なふるさとの風景の一つです。

今、島田駅を発着する電車は少なくなり、ほぼ1時間に1本となってしまいました。クルマ社会の山口県では、仕方ないことなのかもしれませんが、一方で、島田駅は全国と繋がっている貴重な地域の玄関でもあります。

島田駅もICカード対応の自動改札になりました。新しい島田駅の始まりです。かつて、島田川の水運と三島温泉という三島地域の自然環境により発展した島田駅を、次の130周年に向けて、島田川と温泉を活用した、例えばバーサイドウォーク・ラン・サイクリング&温泉という健康づくりや、地域の特産品が買えたり味わえたり、テレワークや学習活動ができる滞在型交流ステーションとしてSHINCAしたいと考えています。



125周年記念で更新した光市周辺地図 (島田駅駅舎内に設置)

※SHINCA:新化・進化・深化の意も含み、「Shimata Healthy Information Nature,Culture, Activity」自然を活用した健康文化活動拠点として島田駅を多機能化するプロジェクト。

ふるさとを応援！ ～ふるさと光応援寄附金(光市へのふるさと納税)～

本年度に初登場した返礼品に限定し集計したランキングを紹介します。

現在、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」では、「ひかりのふぐ」「ひかりのおやつ」などの特集記事を掲載しています。

【初登場限定】ランキング(R4年4月～12月)

| | | |
|----|---------------------------------------|--|
| 1位 | ひかりの苺(ルビー) 4品種セット (農事組合法人つかり) | |
| 2位 | 春摘みいちごアイス(50粒入) (ヒカリ乳業㈱) | |
| 3位 | もちもち食感！ベーグル おまかせ10個セット(moon bagel) | |
| 3位 | バスクチーズケーキ ピスタチオ味 (きなこCAFE) | |
| 3位 | バスクチーズケーキ プレーン味・抹茶味 (きなこCAFE) | |

今が旬のふぐやいちご、みんなで食べたい詰め合わせのお菓子など、光市ならではの返礼品で、ふるさとを感じてみてはいかがでしょうか。

皆様からの寄附金は、光市のまちづくりの大きな原動力となっています。光市がさらに元気なまちになるよう、寄附金を通じて応援していきましょう！

「ふるさと光応援寄附金」の問合せ

光市 広報・シティプロモーション推進室
TEL: 0833-72-1409
Eメール: kouhou@city.hikari.lg.jp

